

令和2年度
高校生模擬議会の記録

青森県選挙管理委員会

はじめに

近年、国政選挙、地方選挙とも投票率は低下傾向であり、特に若い世代の投票率は、他の世代に比べて低く、若者の政治参加が重要な課題となっており、さらには、平成27年6月に選挙権年齢が満20歳以上から満18歳以上に引き下げられ、より一層、若者に対する主権者教育の推進が求められています。

このような状況を踏まえ、県選挙管理委員会では、これから有権者となる県内高校1・2年生が地元である青森県の課題や活性化策等を考えることを通じて、政治や選挙への関心をより一層高めることを目的に、平成28年度から高校生模擬議会を開催しています。

今年度においては、県立大間高等学校、八戸聖ウルスラ学院高等学校、県立八戸東高等学校の3校に参加していただき、明治大学文学部特任教授の藤井剛氏の進行のもと、青森県の活性化策等を検討するグループワークを実施しました。

そして、令和3年2月3日（水）に県議会本会議場で開催した模擬議会では、各校から選出された代表生徒にお集まりいただき、県議会議員等に対し、グループワークでの成果を発表し、高校生の視点からの提案をしていただきました。

今回の模擬議会における新たな取組として、まず、第1点目は、初めて県議会本会議場で実施したこと、第2点目は、各校の提案内容に関連する庁内各課長にも出席してもらい、県の取組等について答弁していただいたことです。また、コロナ禍での実施ということもあり、「三密」の回避や演壇消毒などに努めながらの実施となりました。

参加された高校生の皆さんには、今回の模擬議会で県政の課題等について考えた経験を生かしていただき、今後も友人等とそれぞれの地域について話し合うなどして、選挙の際には投票所へ是非足を運んでいただきたいと思います。

最後に、今回の模擬議会の開催に当たり、御尽力をいただいた参加校の皆様をはじめ、県議会、県教育委員会及び庁内各課の関係者並びに藤井特任教授に対しまして、深く感謝の意を表しますとともに、今回の発表内容等を取りまとめた本冊子を今後の主権者教育に係る参考資料として御活用いただければ幸いです。

令和3年3月

青森県選挙管理委員会

目 次

I . 令和 2 年度高校生模擬議会の概要	1
II . 令和 2 年度高校生模擬議会の状況	
1 . 令和 2 年度高校生模擬議会参加者名簿	5
2 . 各校の発表内容及び質疑応答	8
(1) 青森県立大間高等学校 「わいどの青森～本州最北端の高校生が変えていく青森の未来～」	8
(2) 八戸聖ウルスラ学院高等学校 「食育キャンプで青森の課題解決」	26
(3) 青森県立八戸東高等学校 「短命県返上！！～高校生が作る健康あおもり～」	38